

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授 業 科 目 (英 名)	イノベーション・マネジメント論(Innovation Management)						
担 当 教 員 名	甘泉 瑞応 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] 企業が成長・発展していく上で最も重要とされるのが「イノベーション」であり、そのイノベーションを担う人材は、高度な専門知識とマネジメント能力が求められます。また、製造業、サービス業といった区分に関係なく、「イノベーション」において基本的な考え方は共通している点が多いと言えます。そこで、本講義では、経営学で示されている様々なイノベーションについて体系的に示し、実際に起こった具体的な事例と結びつけながら、個別理論の解説を行っていきます。イノベーションの理論と現象の両面から理解し、ビジネスにおけるイノベーションの重要性と困難性について、理解を深めます。							
[科目の位置付け(全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、サービス・マネジメントコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 「イノベーション・マネジメント論」は、サービス・マネジメントコースのコア科目です。したがって、サービス・マネジメントコースを希望する学生は必ず履修してください。「イノベーション・マネジメント論」の展開科目として、「サービス創造論」「イノベーション・プロセス論」(両科目とも後期開講科目)があります。すなわち、「イノベーション・マネジメント論」を履修した上で「サービス創造論」「イノベーション・プロセス論」を履修することが望ましいです。							
[到達目標] (1) イノベーション・マネジメント論における基本的な知識を修得し、様々なイノベーション理論の内容とそれぞれの特徴について説明できる。 (2) 組織のマネジャーの立場で、イノベーションの重要性を認識し、組織的にイノベーションを起こす仕組みづくりとそれを管理する手法を学ぶ、様々な事例を通してそれらの有効性を確認し応用できる。 (3) 「イノベーション」とは何かを論理的かつ体系的に学び、企業がいかにして組織的にイノベーションを生み出し、イノベーションを管理していくかという、企業経営において普遍的な事象への考察を行うことができる。							
回	授業計画				授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者
1	イントロダクション(授業の進め方・成績評価方法について) 以下の項目を詳しく解説していきます。 ・科目の位置づけ(この専門分野の領域) ・ディプロマポリシーとの関連性 ・授業の目標(到達目標) ・授業の方法・講義手法の概要 ・授業の概要 ・授業計画 ・成績評価の方法・基準 ・参考文献等 ・履修上の留意点 さらに、「イノベーションのいざない(導入)」として以下の項目を詳しく解説していきます。 ・イノベーションとは何か ・イノベーションの身近な具体例 ・イノベーションに関する3人の学者				事前学修(90分): シラバスを読む+「イノベーション」について関連情報を調べ、まとめておく 事後学修(90分): 「イノベーション・マネジメントとは」に関する課題プリントを解く		甘泉瑞応
2	イノベーションとは 以下の項目を具体的な事例とともに詳しく解説していきます。 ・イノベーションを生み出す発想力とT型人間 ・シュンペーターの「イノベーションの5類型」 ・ドラッカーの「イノベーションの方法」				事前学修(90分): 「イノベーションとは何か」について関連情報を調べ、まとめておく 事後学修(90分): 「イノベーションとは」に関する課題プリントを解く		甘泉瑞応
3	ドラッカーのイノベーション(7つの機会) 以下の項目を具体的な事例とともに詳しく解説していきます。 ・予期せぬこと ・調和しないもの ・過程に潜むニーズ ・産業と市場の構造変化 ・人口構成の変化 ・認識の変化 ・新しい知識				事前学修(90分): 「ドラッカーのイノベーション(7つの機会)」について関連情報を調べ、まとめておく 事後学修(90分): 「ドラッカーのイノベーション(7つの機会)」に関する課題プリントを解く		甘泉瑞応
4	ドラッカーのイノベーション(イノベーションの誤解) 以下の項目を事例を交えて詳しく解説していきます。 ・イノベーションとは組織的な営み ・イノベーションとは、ヒト、社会、組織、時代が絡み合った社会的な言葉(知識の組み合わせによって起きる変革) ・イノベーションとは、時代を画する壮大なものという意味にあらず、小さなことから始まる				事前学修(90分): 「ドラッカーのイノベーション(イノベーションの誤解)」について関連情報を調べ、まとめておく 事後学修(90分): 「ドラッカーのイノベーション(イノベーションの誤解)」に関する課題プリントを解く		甘泉瑞応
5	ドラッカーのイノベーション(イノベーションのための5つの基本手順) 「イノベーションのための5つの基本手順」として、以下の項目を詳しく解説していきます。 ① 機会に注目し、徹底検討する ② 知覚的に認識をする ③ 簡単なものにする ④ 小規模にはじめる ⑤ 最初からトップの座を狙う				事前学修(90分): 「ドラッカーのイノベーション(イノベーションのための5つの基本手順)」について関連情報を調べ、まとめておく 事後学修(90分): 「ドラッカーのイノベーション(イノベーションのための5つの基本手順)」に関する課題プリントを解く		甘泉瑞応
6	フォスターのS字カーブとクリステンセンのイノベーション(持続的／破壊的イノベーション) 以下の項目を詳しく解説していきます。 ・フォスターのS曲線 ・持続的イノベーション ・破壊的イノベーション				事前学修(90分): 「クリステンセンのイノベーション(持続的／破壊的イノベーション)」について関連情報を調べ、まとめておく 事後学修(90分): 「クリステンセンのイノベーション(持続的／破壊的イノベーション)」に関する課題プリントを解く		甘泉瑞応

7	クリステンセンのイノベーション（イノベーションのジレンマ）以下の項目を詳しく解説していきます。 ・2つの異なるイノベーションの状況 ・イノベーションのジレンマ ・ガラパゴス化	事前学修（90分）：「クリステンセンのイノベーション（イノベーションのジレンマ）」について関連情報を調べ、まとめておく 事後学修（90分）：「クリステンセンのイノベーション（イノベーションのジレンマ）」に関する課題プリントを解く	甘泉瑞応
8	前半の振り返り 知識の定着と確認のため前半の講義を振り返り、各項目のポイントを解説していきます。	事前学修（90分）：これまでの講義レジュメの内容をまとめておく 事後学修（90分）：これまでの課題プリントの内容をまとめておく	甘泉瑞応
9	前半の確認 パラダイムシフト 前半の講義を振り返り、知識の定着と確認のためのテストを行います。 また後半では、ジョエル・バーカーの「パラダイムシフト」に関する以下の項目を詳しく解説していきます。 ・「パラダイム」とは？ ・ビジネス界における「パラダイムシフト」 ・「パラダイムシフト」に対して経営者が意識しておく必要があること ・パラダイムの森 ・ITの進展とインターネットの定着（IoT、Bigdata、AI） ・DX（デジタルトランスフォーメーション）	事前学修（90分）：「パラダイムシフト」について関連情報を調べ、まとめておく 事後学修（90分）：「パラダイムシフト」に関する課題プリントを解く	甘泉瑞応
10	アーキテクチャー（モジュール化） 以下の項目を詳しく解説していきます。 ・製品アーキテクチャ ・アーキテクチャの構成要素 ・部品のモジュール化 ・オープンアーキテクチャ	事前学修（90分）：「アーキテクチャー（モジュール化）」について関連情報を調べ、まとめておく 事後学修（90分）：「アーキテクチャー（モジュール化）」に関する課題プリントを解く	甘泉瑞応
11	アーキテクチャー（モジュラー型／インテグラル型） 以下の項目を詳しく解説していきます。 ・「モジュール」とは ・水平的な分業体制 ・モジュール化によるメリット・デメリット ・アーキテクチャー（モジュラー型／インテグラル型） ・日本企業の競争力（もの造り能力・現場の組織能力） ・モジュラー化 ・イノベーションによる陳腐化 ・製品アーキテクチャ（モジュラー型とインテグラル型）と企業の競争力 ・部品間特性（サブシステム間特性） ・組織能力と製品アーキテクチャ ・モジュラー型とインテグラル型の特徴 ・モジュール化の優位点と産業への影響 ・モジュール化とコモディティ化 ・コモディティ化の3要素と影響メカニズム	事前学修（90分）：「アーキテクチャー（モジュラー型／インテグラル型）」を調べ、まとめておく 事後学修（90分）：「アーキテクチャー（モジュラー型／インテグラル型）」に関する課題プリントを解く	甘泉瑞応
12	オープン・イノベーション 以下の項目を詳しく解説していきます。 ・オープンイノベーションの「必要性」とその「狙い」 ・「クローズド・イノベーション」と「オープン・イノベーション」 ・なぜ企業にとってオープンイノベーションが必要なのか？ ・オープン・イノベーションの対極をなす企業の愚弊（自社開発主義（自前主義）と「NIH 症候群」(Not Invented Here Syndrome)) ・オープン・イノベーションのデメリット ・オープンイノベーションの事例	事前学修（90分）：「オープン・イノベーション」について関連情報を調べ、まとめておく 事後学修（90分）：「オープン・イノベーション」に関する課題プリントを解く	甘泉瑞応
13	リバース・イノベーション 以下の項目を詳しく解説していきます。 ・「リバース・イノベーション」とは何か？ ・リバース・イノベーション戦略が注目される背景 ・ローカリゼーション、グローバリゼーション、グローカリゼーション ・リバース・イノベーション戦略が注目される背景 ・BOP (Base of the Pyramid) ・リバース・イノベーションの必要性 ・アメリカの多国籍企業の新興市場に対するアプローチの変化の4つの段階 ・カニバリゼーション ・ローカル・グロス・チーム (LGT) のマネジメント5原則 ・「リバース・イノベーション」の事例紹介	事前学修（90分）：「リバース・イノベーション」について関連情報を調べ、まとめておく 事後学修（90分）：「リバース・イノベーション」に関する課題プリントを解く	甘泉瑞応
14	経営管理イノベーション ・ゲイリー・ハメルと『経営の未来』 ・「経営管理イノベーション」の考え方 ・イノベーションの階層 ・経営管理イノベーションの挑戦課題 ・経営管理イノベーションの事例	事前学修（90分）：「経営管理イノベーション」について関連情報を調べ、まとめておく 事後学修（90分）：「経営管理イノベーション」に関する課題プリントを解く	甘泉瑞応
15	全体のまとめ これまでの講義の全体を振り返り、各項目のポイントを解説していきます。 その後、確認テストを行い、答え合せとその解説を行なっていきます。	事前学修（90分）：これまでの講義レジュメの内容をまとめておく 事後学修（90分）：総まとめの課題プリントを解く	甘泉瑞応
成績評価の方法と基準		課題プリント（15%）、試験（85%）に加えて、毎授業で課すコメント票と授業への参画度等も加味し、総合的に評価します。	
履修上の留意点		事前学修に記載の通り、各回の内容を事前に調べ、まとめていることを前提とし、講義を行います。また、課題プリントを各回に課します。詳しくは、初回授業時に説明します。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの（1）～（4）と関連しています。特に（1）は重要です。	
教科書		指定教科書はありません。 参考教材：カデナクリエイト著(2015) 『図解&事例で学ぶイノベーションの教科書』 マイナビ出版	

参 考 書 ・ 参 考 資 料	適宜配付します。
学 生 と の 連 絡 方 法	AAAを活用します。
実 務 経 験 科 目	